



令和7年9月9日

報道機関各位

神奈川県立保健福祉大学 イノベーション政策研究センター
神奈川県立病院機構 神奈川県がんセンター 臨床研究所
がん予防・情報学部

神奈川県地域がん登録データから神奈川県における がん患者さんの自殺の現況が明らかになりました

神奈川県地域がん登録のデータを活用した論文「Suicide risk transition and cumulative incidence post-cancer diagnosis: retrospective cohort study utilizing population-based cancer registry in Japan」が「BMC Cancer」のオンラインに掲載されましたので、お知らせします。これは神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センターの成松宏人センター長の研究チームと、神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部の研究チームが共同で実施した研究の成果です。

研究のポイント

- ・がん患者さん のべ 30 万人のデータを分析
- ・診断後の半年間に約 500 人に 1 人が自殺に至り、その期間は一般の方より 2.7 倍自殺の危険性が高い
- ・約 1 年で一般の方と同じ水準に戻るが、その後も再上昇する可能性がある

1. 研究の背景・目的

がん患者さんでは、一般の方に比較して、その診断直後から自殺の危険性が高まることが知られています。本研究は、神奈川県民でがんと診断された方において、時間経過によって自殺の危険性がどのように変化するかを明らかにし、神奈川県内外の医療現場での自殺予防のための支援や対策に役立てることを目的としています。自殺はその土地の文化や慣習、医療システム等によっても影響を受けますが、国内において、がん患者さんの自殺の危険性について中長期的な傾向の報告はまだほとんどありません。

本研究では、がん診断からの時間経過により変化する自殺の危険性の推移を明らかにしました。これは、神奈川県が全国で唯一保有しているがん登録事業である、「神奈川県地域がん登録」に蓄積されたデータを活用することで可能となりました。神奈川県地域がん登録は、県内の医療機関から報告される情報をもとに、県民全体のがんの実態を把握するために整備された公的なデータベースであり、正確な診断日やがんの種別、死亡日、死因などを把握することができます。



※ 神奈川県が全国がん登録と並行して独自で行っているがん登録事業で、1975年より50年にわたり継続的にがんの罹患（病気にかかること）、死亡と生存に関する情報を収集しています。今回の研究のようながん対策に資する研究や、予後調査（生存状況の調査）、がん検診精度管理（がん検診を効果的に実施するための調査研究事業）といった神奈川県民に密着したがん対策のためのデータ基盤となっています。

2. 研究結果

2016年から2018年にかけてお亡くなりになったがん患者さん105,598人のうち、0.27%が自殺によるものでした。また、同期間にあらたにがんと診断された203,913人において、自殺に至ってしまう方の割合は、診断後6か月時点、診断後1年時点でそれぞれ0.23%と0.33%でした。

年齢・性別・発生年で調整したがん患者さんの自殺の危険性は、一般の方に比べ診断後6か月間で2.71倍、診断後1年間でも2.10倍高いことがわかりました。診断後から3か月間隔での自殺の危険性をみてみると、最初の3か月間で自殺の危険は3.45倍にまで一気に上昇し、その後1年程度かけて一般の方と同程度まで低下したあと、13～15か月目において短期的に再上昇していることがわかりました。

自殺の発生に関連する要因（リスク因子）を探索した分析では、男性が女性より自殺しやすいというよく知られた傾向に加えて、より生存率が低い種類のがん（膵がんや胆道がん）にかかった方において危険性が高まることがわかりました。

3. まとめ

がん患者さんの自殺は、患者さん全体としてみればまれな出来事ですが、少数であっても重大な出来事であるため、その対策は非常に重要です。本研究の成果は、医療機関がそれぞれに診療を行う患者さんの数に応じて、起こりうる自殺の時期や数の推定を可能にしたり、がん患者さんの自殺対策への医療資源の割り当てを検討したりするために有用な情報となります。

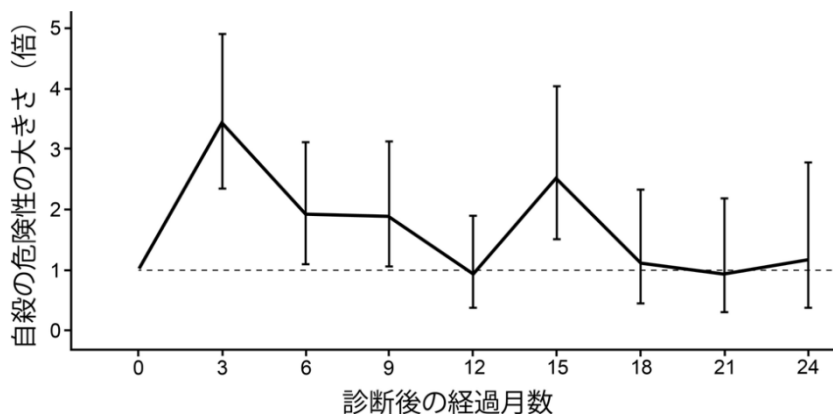


図1. 危険性の上昇は診断直後と13～15ヶ月目の2回認められた（一般の方との比較）

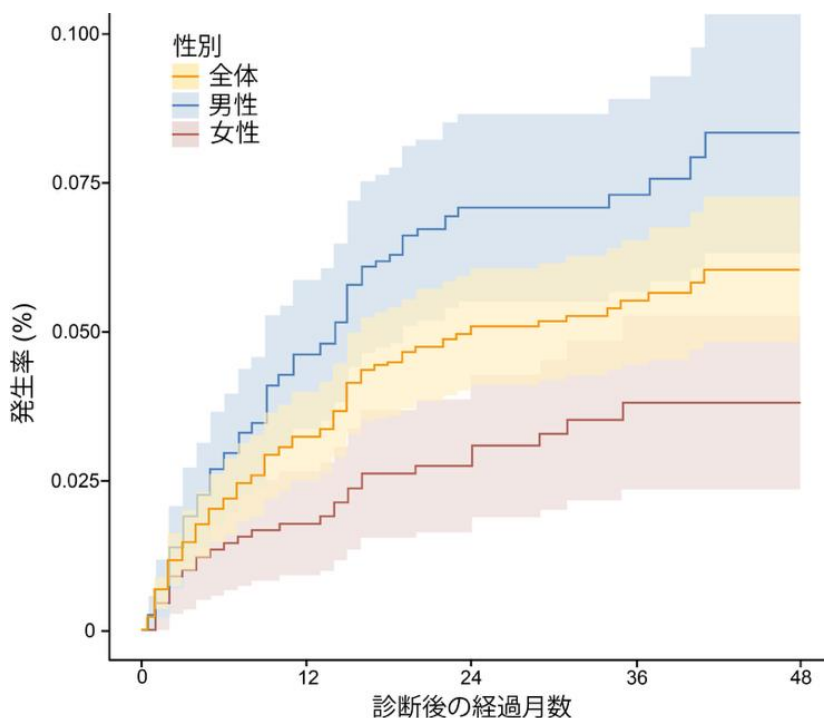


図2. 男性で一貫して高い自殺の発生率が認められる

(論文掲載)

Watanabe K, Nakamura S, Chei CL, Narimatsu H. Suicide risk transition and cumulative incidence post-cancer diagnosis: retrospective cohort study utilizing population-based cancer registry in Japan. BMC Cancer 25, 1243 (2025).

<https://doi.org/10.1186/s12885-025-14635-6>

(問合せ先)

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
イノベーション政策研究センター 副センター長
(ヘルスイノベーションスクール担当部長) 和田
電話 044-589-3312
E-mail: shi-press@kuhs.ac.jp

【研究内容に関する問合せ先】

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立がんセンター臨床研究所
がん予防・情報学部：成松 宏人
電話：045-520-2222 (代)
E-mail: narimatsu.0750f@kanagawa-pho.jp